

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374700294
事業所名	グループホーム はるすのお家いわくら

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目: 2)	評価
	近所のスーパーや商店、喫茶店、また、地域の人達とも顔馴染みの関係が築けている。日常的に小学生が遊びに来てくれる関係であり、ホームの夏祭りには現区長を始め前区長や介護相談員の方等、多くの地域の方が参加して楽しい時を過ごした。町内行事である芋煮会では、高齢である入居者が楽しめるようテーブルや椅子等の配慮をしてもらえるなど、地域との良好な関係がうかがえる。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目: 3)	評価
	運営推進会議は区長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族代表、入居者代表、管理者、職員をメンバーに2カ月に1回開催している。地域包括支援センター職員が欠席する場合は市職員が参加している。区長や民生委員の協力により、地域の行事に入居者は楽しく参加している。メンバーからは率直な意見や感想、アドバイスをもらい運営に活かすよう取り組んでいる。運営推進会議を通して、地域や家族との関係がより深まっている。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目: 4)	評価
	管理者は市役所を訪問して運営推進会議の議事録等を直接担当者に渡し、ホームの近況報告をしたり、情報や助言などをもらっている。入居者と一緒に訪問することもある。運営推進会議への参加もあり、日常的に協力関係を築いている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目: 6)	評価
	家族の訪問時には、気軽に話してもらえるよう雰囲気づくりに努め、意見や要望を聴いている。出た意見等は申し送りや会議で共有し運営に反映させている。入居者から出された要望についても会議で話し合い、できることから取り組んでいる。外部評価のアンケートを活用し改善に取り組んでおり、今回の家族アンケートの結果からも、ホームは気軽に訪問しやすく職員は話を良く聞いてくれると高い評価を得ている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価						

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。